

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

昨年、約20年のサラリーマン生活に終止符を打ち、株式会社シー・エス・ビルドを設立しました。今までとは違った形で建設業に携わることになり、多少戸惑いもありましたが、何とか無事に平成25年度を終えることができました。

独立した際に『なぜ独立しようと思ったの?』とよく聞かれました。独立の理由、それは『自分へのご褒美』と考えています。ピンとこないかもしれませんが、これが正直な想いなのです。

40歳になるくらいから、今後の技術者としての生き方を色々考えるようになりました。その際に、①今の会社でバリバリ働いて出世する! ②他社へ転職して新しい知識を吸収する! ③独立・起業する! といった主に3つの選択肢が思い描かれました。このような選択肢を思い描くことは誰にでも出来るかもしれませんが、実行するととなると話は別でしょう。なかでも最も厳しい道と考えられる『独立・起業』を選択出来たこと、これはとても喜ばしいことです。客観的に言えば『良かったな! 頑張ったな! 伊藤! これからも頑張れよ! 伊藤!』といった感じでしょうか。

『自分へのご褒美』というのは、『人生の選択肢を持たせたこと』、『その選択肢を実行に移せる自信が(少し)ついたこと』、『自信を付けるために(少しは)努力してきたこと』などに対するものなのです。

これから先も色々な人生の分岐点を迎えるかと思います。その際には前向きな選択肢を持てるよう、それに対し自信を持って選択・実行できるよう、努めていく所存です。ただ、そのためには更なる修行が必要なのでしょう…今後も厳しい修行が続きそうです(苦笑)。～一生現役! 生涯修行!～

伊藤 史弘(いとう ふみひろ)

●建設部門
(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

株式会社シー・エス・ビルド



→次号は、和田隆宏さん(建設部門)

私が入社したころはまだ公害問題が話題になっており、当社は主に排水や大気公害測定を行っていました。ほどなく環境基本法が制定され、時代は公害防止から生態系を含めた環境保全にシフトしてきました。現在は、環境保全から、更に進んで自然再生や自然復元に向かっています。現在、当社で行っている環境調査は主に工事に関わる影響調査ですが、その他に失われた自然の再生や環境保全の啓蒙活動に関する業務も多くなってきています。私が技術士に合格したのは平成17年度で、もう9年経ちました。その間に自分の技術が向上したかと言われると自信をもって言えることもないと思います。私が技術士試験の面接を行った時に、私の出身が数学物理系であったため面接官に、専門が違うが役立っていることはありますか、と聞かれました。その時私は、これから情報量がどんどん多くなり、統計学が解析に大いに役立っていくと答えたのを覚えています。現在はあらゆる情報があふれ、今流行のビッグデータの解析が盛んに行われています。全ての人の膨大な個人情報解析され、知らない間にいろいろな分野で利用されています。実際、インターネットを見ると、なぜか私がほしいものや読みたい本のCMが出てきます。私の生活習慣や好みが見透かされているようで気が悪いことがあります。現在の情報化社会では建設環境等の分野でも益々データが大量になり、統計によるデータの解析が更に重要になっていくのではないかと思います。私は自分の分野の技術を向上させるのはもちろんですが、これからは統計等を使った解析技術の向上も考えていかなければならないと感じています。

定塚 徹(じょうづか とおる)

●建設部門(建設環境)

勤務先

環境コンサルタント株式会社



→次号は、中島慶介さん(上下水道、衛生工学、総合技術監理)